

目次

第1章 研究小史	1
1.1. 情動,感情の定義	2
1.2. 反応パタン	3
1.2.1. 自律神経系の反応パタン	3
1.2.2. 大脳半球偏側性	5
1.3. 感情喚起方法	6
1.3.1. 従来用いられてきた方法	6
1.3.2. 感情喚起刺激の標準化	7
1.3.3. 身体活動と感情	9
1.4. 感情研究の展望	11
1.5. 本研究の目的	13
第2章 課題遂行時の行動接近・行動抑制と自律神経系反応パタン	15
2.1. 序論	16
2.2. 方法	17
2.3. 結果	20
2.4. 考察	22
第3章 感情喚起刺激が自律神経系の反応パタンに及ぼす影響	26
3.1. 序論	27
3.2. 方法	28
3.3. 結果	31
3.4. 考察	36
第4章 強度の異なる運動が感情と脳波の偏側性に及ぼす影響	40
4.1. 序論	41
4.2. 方法	42
4.3. 結果	45
4.4. 考察	50
第5章 感情喚起スライドに対する心臓血管系反応と脳波の偏側性	53
5.1. 序論	54
5.2. 実験1	55
5.3. 目的	55
5.4. 方法	56
5.5. 結果および考察	59
5.6. 実験2	62
5.7. 目的	62
5.8. 方法	62
5.9. 結果および考察	64
5.10. 総合考察	67

第6章 総括	71
6.1. 課題遂行時の行動接近・行動抑制と自律神経系反応パターン.....	72
6.2. SPRと不安・性格特性	73
6.3. 映像刺激に対する自律神経系反応パターン	74
6.4. 身体活動が感情と脳波の偏側性に及ぼす効果.....	75
6.5. 感情喚起スライドに対する心臓血管系反応と脳波の偏側性	76
6.6. まとめ	78
引用文献	80
関連文献	91
付録	93

